

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (892), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (□政策 □經常 ■なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (893), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main body table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and a detailed financial breakdown table for (8) 施行事項 and (9) 財源内訳.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (895), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes project details, objectives, content, and a detailed budget table for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table for Section 2. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency, with checkboxes for 'Required' (要) or 'Not Required' (不要).

3. 事後評価

Post-evaluation section including a progress status (e.g., 現状どおり推進) and a comment box for evaluation.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (899), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a note about continuing water quality checks.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (904), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status (e.g., 現状どおり推進).

Comments and improvement directions section with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (906), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	907	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 資源消費の節約と環境負荷の低減	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	水道局・工務課			
	③事業主体	個別事業 水道管路施設維持修繕	④対象地区	○我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.51人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 24,437千円 (うち人件費 4,437千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62301	重点プロジェクトへの位置づけ 重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市水道事業基本計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。		事業目的	大規模事故を引き起こすことも危惧されるとともに水道経営にも悪影響を及ぼす一因ともなっている無収水量となる漏水を防止することにより資源消費の節約と有収率の向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	水道管路、水道管路付属施設、消火栓等の修繕工事の施工、工事監督、断水対策、その他漏水修繕に係る事務処理を実施する。		当該年度執行計画	水道管路施設、消火栓等に漏水等作動不良が発生した場合、速やかに対応し施設の維持管理と水の有効利用に努める。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	水道管路施設、消火栓等に漏水等作動不良発生時に迅速な処理を実施する。		当該年度活動結果指標	維持修繕工事件数	単位	件	想定値	50	
当該年度	水道管路施設、消火栓等に漏水等作動不良発生時に迅速な処理を実施する。	指標種類	直接	指標	維持修繕工事件数	単位	件	実績値	38	
令和3年度	水道管路施設、消火栓等に漏水等作動不良発生時に迅速な処理を実施する。	直接	維持修繕工事件数	単位	件	件	50	(5) 現況値	50	
令和4年度	水道管路施設、消火栓等に漏水等作動不良発生時に迅速な処理を実施する。	直接	維持修繕工事件数	単位	件	件	50	(6) 目標値	50	
(7) 事業実施上の課題と対応			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		路施設漏水等緊急修繕工事(30件)	15,000	管路施設漏水等緊急修繕工事(30件)	15,000	23,664	管路施設漏水等緊急修繕工事		管路施設漏水等緊急修繕工事	
		消火栓故障緊急修繕工事(20件)	5,000	消火栓故障緊急修繕工事(20件)	5,000	2,406	消火栓故障緊急修繕工事		消火栓故障緊急修繕工事	
		合計	20,000	合計	20,000	26,070	合計	0	合計	0
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
		一般財源		20,000		20,000		26,070		0
		その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51		
(10) 人件費等	正職員人件費	4,488	4,437	4,437	4,437	4,437	4,437	4,437		
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0		
	臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	24,488	24,437	30,507	30,507	4,437	4,437	0		
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標	489.76千円/件	488.74千円/件	802.82						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	水の有効利用を図るため、速やかな水道管路等の維持修繕に努める。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 修繕対応は件数の多少はあるが対応は必須のため、必要性は大きい。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 適切な施設管理や突発的な事故の迅速な対応は、運用管理している水道事業体が実施することが必然であるため。		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	50	50	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	138.89		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 老朽管更新事業により、漏水頻度が低減した。	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況	事業費の削減対策について		○要 ●不要
		24,437	51	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	124.84		○①事前の想定どおり ●②事前の想定どおりでなかった
	事業費削減率(%)	0.21		<削減の内容>		<超過理由等> 修繕件数は減少したが基幹管路で漏水規模が大きく、緊急工事としたため費用が増大した。		<想定どおり削減できなかった原因> 管口径および漏水規模が大きい修繕事業があり、これを緊急対応としたため、費用が増大し削減するのは困難であった。	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 修繕件数は減少したが、基幹管路で漏水規模が大きい修繕があったため、想定以上に費用を要した。
	0.2	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	166.67		○要 ●不要

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	水の安定供給には適切な施設管理や突発的な事故(漏水・濁水) 対応が必要であることから事業の優先度は高く、現状どおり維持していく。									

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 912 課コード 0902 会計種別 公営企業会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 安全な水を安定的に供給するため...
(3) 事業内容: 配水管の更新工事 (改良・拡張・基幹) 総延長分のデータ更新を随時実施する。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)

評価コメント: 管路施設に係る資産管理や整備計画、事故対応等の業務について、システムのデータ更新は不可欠のことから事業の優先度は高く、現状どおり推進していく。 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1821), 課コード (0902), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2037	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 施設の耐震化と水運用機能の強化	実施計画への位置づけ		○有 ○無		②部課名	水道局・工務課			
	③事業主体	個別事業 基幹水道管路の更新改良・耐震化	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		1.16人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 23,446千円 (うち人件費 10,092千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市水道事業基本計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。			事業目的	経年劣化が進んでいる基幹管路（重要給水施設に至るルート）の計画的な更新を実施することにより耐震性に優れた基幹管路網を構築し、更に安心・安全で安定した水供給が可能となる強固な水道施設運用を確立する。					
(3) 事業内容	内容	重要給水施設管路のうち、応急給水設備を設置するが災害対策井戸を有しない市内小学校10校への配水ルート（浄水場内配管も含む）を基幹管路と再定義し、我孫子市耐震化計画に優先順位を付け耐震化を進めることで、具体的かつ効果的な地震災害に強い基幹管路網を構築する。			当該年度執行計画	「重要給水施設管路基礎調査業務委託（2019委02）」の資料を基に、基幹管路（重要給水施設に至るルート+導水管）の耐震化に向けた基本設計を行い、工事実施設計の基となる設計思想（工法・工期・コスト等）を確立する。 ①配水管L=6,720m ②導水管L=3,140m ③浄水場内管路 総延長L=9,860m					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	想定値	実績値		
当該年度	基幹管路（重要給水施設に至るルート）更新工事の基本設計を実施する。				直接	基幹管路耐震化基本設計延長距離 (m)	m	6,720	9,860		
令和3年度	基幹管路（重要給水施設に至るルート+導水管）の耐震化に向けた工事実施設計を行い、次年度以降からの工事施行に必要な設計図書を作成する。				直接	基幹管路耐震化基本設計延長距離 (m)	m		9,860		
令和4年度	基幹管路（重要給水施設に至るルート+導水管）を耐震・耐食性に優れた管材に布設替えし、地震災害に強い管路網を構築する。				直接	基幹管路・更新布設延長距離 (m)	m		640		
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		重要給水施設管路基礎調査業務委託 重要給水拠点及び配水ルート システム	5,434 709		基幹管路基本設計業務委託	13,354	9,900		基幹管路実施設計業務委託		
	予算(決算)額	合計	6,143	合計	合計	13,354	9,900	合計	合計	0	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		6,143		13,354	9,900		0		0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		1.16		1.16	1.16		1.16		0	
	正職員人件費		10,208		10,092	10,092		10,092		0	
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		16,351		23,446	19,992		10,092		0	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			2.43千円/m		2.38千円/m	1.88					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	ライフラインとして重要である水道管路施設は、法定及び学術的指針による更新時期(埋設後30~40年)を迎えているものが増大してきている。現在までも計画的に劣化状況(漏水発生)や経年劣化などから更新を行ってきたが、昨今の災害発生(東日本大震災、原発事故に伴う放射能流出による水質事故、ホルムアルデヒド流出による大規模断水)の経験を踏まえ、浄水場施設とともに上水供給に重要な基幹管路の早期耐震化にも向け、迅速な事業着手を行うことにより災害にも耐える強靱な施設を構築する必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 概ね、計画どおりの施行であった。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 水道供給事業者が計画的に遂行する事業であるため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 該当なし。		該当なし。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし。		該当なし。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (m)	目標値(b) (m)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	6,720	9,860	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (m)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 計画どおり発注し、年度内に完了確認した。		
					10,610	107.61			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要	
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	23,446	△7,095	<削減の内容>		19,992	85.27	<超過理由等> 競争入札で受託者を決定したため。		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	42.05		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 競争入札により、想定より安価に事業を遂行できた。			
				53.07	126.21				

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	水の安定供給には基幹管路の計画的な更新(布設替え)が必要であることから、事業の優先度は高く現状どおり推進していく。	改善策及び展開方向
----	---	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2140	課コード	0902	会計種別	公営企業会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	水道局・工務課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.66人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	5,742千円 (うち人件費 5,742千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市水道事業基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。			事業目的	将来にわたり安定して供給できる水道				
(3) 事業内容	内容	安定した水源の確保を行い、安全な水を安定的に供給する。			当該年度執行計画	取受水計画の策定(11月) 北千葉受水量申し込み(9月) 取水量、受水量、配水量及び末端圧力等浄水場の運転状況を管理する。(通年)				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	安定した水源の確保				直接	水源余裕率(確保している水源水量/一日最大配水量)-1)×100 (水道事業ガイドラインに基づく業務指標1002)	%	36	35	
令和3年度	安定した水源の確保				直接	水源余裕率(確保している水源水量/一日最大配水量)-1)×100 (水道事業ガイドラインに基づく業務指標1002)	%		35	
令和4年度	安定した水源の確保				直接	水源余裕率(確保している水源水量/一日最大配水量)-1)×100 (水道事業ガイドラインに基づく業務指標1002)	%		45	
(7) 事業実施上の課題と対応	渇水時にも安定して水を供給するための水源確保が必要となる。また、取水量と受水量は費用面及び運用面の双方から最も効率の良い比率を検討する必要がある。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			取・受・配水の計画及び管理	0		取・受・配水の計画及び管理	0		取・受・配水の計画及び管理	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		0		0		0		0		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.66	換算人数(人)	0.66	換算人数(人)	0.66	換算人数(人)	0.66		
(10) 人件費等	正職員人件費	5,808	正職員人件費	5,742	正職員人件費	5,742	正職員人件費	5,742		
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0		
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,808	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,742	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,742	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	5,742		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	15.91千円/日		15.73千円/日		15.73					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民の日常生活に欠くことのできない水を安定的に供給することは水道事業者において必須のものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 安定した水の供給は市民の生活に欠かせないため				<想定どおりでなかった理由/想定どおりでなかった原因> ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> 水の適正かつ合理的な使用に、必要な対策を講じることが地方公共団体の責務となっているため				○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	36	35	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	102.86		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 北千葉受水申込水量は増加したが地下水量に変動はなく、想定範囲であったため	
					実績値(g)(千円)	100		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		5,742	100		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.61	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	103.28		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	適正な取水・受水・配水管理は、水の安定供給に欠かせないことから現状どおり推進していく									